

無理なく続けたいですね。



海老名 直志 さん (滝野地区)

輝く地域の力 白鷹の未来を彩る

滝野夏祭り実行委員会

… 地域に笑顔が広がるために …

滝野夏祭り実行委員会代表の海老名直志さんにお話を伺いました。

活動のきっかけは

滝野にも以前は盆踊りがあったのですが、無くなって寂しい思いもあり、また新しく来た人たちと地域の方々がお互いにならぬ、皆さんが一堂に会する場所があってもいいと思い。

どんな活動ですか

お祭りの企画運営ですね。打ち上げ花火や出し物、のど自慢や抽選会、新婚さんいらっしやいや売店など毎年趣向を凝らして開催しており、

特に有志のステージでは、自前で衣装を用意するなど、年々進化しています。

昨年

は10周年で、ミッチーチエンさんをお招きして、DJ+MC3人の本格的なライブを見ることができました。

抽選会の際

、景品を取りに来た人たちにインタビューするのですが、新しい人や子どもを紹介する機会にもなっています。

でもこの夏は

コロナ禍で残念ながら開催できませんでした。

仲間について

当初は若い衆で企画しようと思いをかけ、現在は20数人のスタッフでやっています。コミセンと交通安全協会の方々にもご協力いただいております。

心がけていることは

自分たちの意志で縛りもきつくなく、無理なくやっていくこと

とを大事にしています。自分も、お祭り当日でも仕事優先でやらせてもらっています(笑)。

良かったことは

子どもたちがすごく楽しそうにしていることですね。若妻の方々が浴衣を着て盛り上げてくれて、なかなか華やかです。良い交流の場になっています。

各戸から

寄付をいただき、花火を盛大に打ち上げることができています。滝野の皆様、ご協力ありがとうございました。

今後は

バラエティーに富んだ形でやっていきたいですね。皆さんが集まってくれる間はやっていきたい。ただ、コロナの影響でどう開催できるのか心配ですが、コロナ禍のなかでの祭りのあり方も提案していきたいですね。



盛り上がる夏祭り

議会へひとこと

定員割れしているところもある中で、若い議員もいて頼もしく感じます。世代が幅広いのは良いと思うので、柔軟に町のことを議論して欲しいですね。

取材を終えて

地域力を継続して高めていくためには、自分たちも無理なく楽しみながら取り組んでいく姿勢が大事であることを学ばせていただきました。(竹田)

編集後記

明けましておめでとうございます。新型コロナウイルス感染症がこのような短期間で全世界に広がることは夢にも思いませんでした。本町に目を向ければ、まちづくり複合施設の完全整備とそれに伴う全国木材利用優良施設コンクール内閣総理大臣賞受賞、そして町民の大きな願いであった白鷹大橋の開通と、明るい話題が駆け巡りました。

さて今年(令和3年)は、丑年は芽吹きを迎えようとする年と言われています。今年こそは人類がコロナ感染を完全に抑えることに成功し、大きな喜びを味わいたいものです。(丸川)

広報委員

- 委員長 菅原 俊一
- 副委員長・編集長 横山 和浩
- 委員 丸川 雅春
- 委員 竹田 雅彦
- 委員 金田 悟
- 印刷 (有)梅津印刷



お手持ちのパソコンやスマホなどで議会中継をご覧ください。録画でもご覧いただけます。

議会だよりのご意見・ご感想などを議会事務局までお寄せください。